

2026 年 9 月 4 日

日 東 紡

環境省「令和 8 年度公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業」に採択

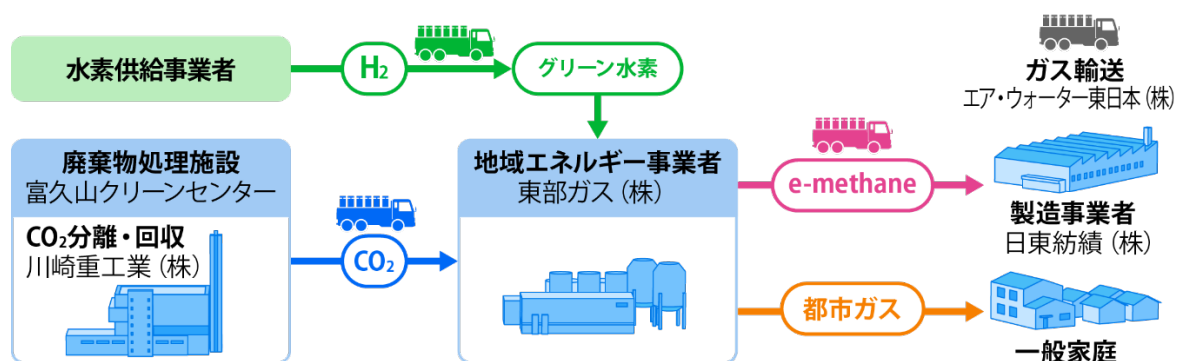
当社は、2025 年 8 月に福島県郡山市及び川崎重工業株式会社、エア・ウォーター東日本株式会社、東部ガス株式会社、当社の 5 者間で「資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定」※¹を締結しましたが、この度、代表実施者である川崎重工業が環境省委託事業「令和 8 年度公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業委託業務」において、「郡山市における一般廃棄物処理施設を主体とした炭素循環事業モデル実証事業」（以下、本事業）を提案し、正式に採択されましたのでお知らせします。

本事業では、郡山市富久山グリーンセンターに川崎重工業が試験用として設置し、2026 年 5 月より稼働している CO₂ 分離・回収設備「Kawasaki CO₂ Capture（KCC）」※²にて回収した CO₂ を資源として活用し、地域内で循環利用する「郡山モデル」の実現を、郡山市、川崎重工業、エア・ウォーター東日本、東部ガスおよび当社の共同で目指していきます。なお、事業実施期間は令和 8 年度から令和 11 年度までを予定しています。

「郡山モデル」は、一般廃棄物処理施設である富久山グリーンセンターの排ガスから回収した CO₂ を「はこぶ」、CO₂ を原料として合成メタンを「つくる」、製造した合成メタンを地域で「つかう」という CCU サプライチェーンを構築し、地域の脱炭素化実現に貢献するスキームであり、当社は製造した合成メタンを地域で「つかう」役割を担います。

本事業で製造する合成メタンは、燃焼時の CO₂ 排出量を実質ゼロとみなせる環境にやさしい「カーボンニュートルガス」となります。当社は産業利用の観点から合成メタンのさまざまな分析を行い、将来的な大規模活用も見据えた評価・検証を進めていきます。

当社は今後も、自治体および関係事業者との連携を深め、郡山市の地域特性を活かした CCU サプライチェーンの構築を通じて、資源循環と脱炭素化の両立に貢献していきます。



※1：資源循環及び脱炭素化の推進に関する連携協定締結のお知らせ

https://www.nittobo.co.jp/news/pdf/20250820_newsrelease.pdf

※2：川崎重工業のCO₂分離回収技術について（KCCの詳細）

<https://www.khi.co.jp/energy/co2sr/>

【参考リンク】

令和8年度「公共施設を主体とした地域での炭素循環事業モデル実証事業」の採択について（環境省報道発表）

https://www.env.go.jp/press/press_05509.html

■ 本件に関するお問い合わせ先：日東紡 コーポレート・コミュニケーション部 ir@nittobogrp.com

以上